

たんぱく尿、高血圧、高血糖、動脈硬化…… 知っておきたい体の危険信号

第7回 腎臓から考える健康ライフセミナー

腎臓病なんて自分には関係ない、と思っていませんか？
 成人の8人に1人は慢性腎臓病 (CKD) と推測されています。
 この病気は自覚症状に乏しいのが特徴で、適切な治療を施さないと心筋梗塞、脳卒中等を併発します。
 最近では糖尿病性腎症から透析治療に入る方が多く見受けられるようになりました。
 セミナーでは日常の注意点から治療法まで専門医の講演のほか、
 腎臓にやさしい食べ物のサンプル提供、血圧、薬、腎臓病相談などのブースを設け、
 充実した内容になっています。
 体からの小さな危険信号、あなたは見逃していませんか？

2017年3月9日は「世界腎臓デー」です



参加者募集!
350名様 無料ご招待!

と
 3/5日

12:00 開場 13:00 開演
 [16:15 閉場予定]

と
 朝日ホール

名古屋市中区栄1-3-3 朝日会館15階
 *地下鉄東山線・鶴舞線「伏見」駅 下車
 7番出口を西へ徒歩3分
 *JR「名古屋」駅下車徒歩15分

- 講演1** 13:00~13:10 「もっと知ろう!! 腎臓のこと」(10分)
 名古屋大学大学院医学系研究科 教授 丸山 彰一先生
- 講演2** 13:10~13:30 「糖尿病と腎臓病はどんな“あいだから”?’(20分)
 藤田保健衛生大学医学部腎内科学 准教授 稲熊 大城先生
- 講演3** 13:30~13:50 「一病息災の健康法:運動で長生き!」(20分)
 名古屋大学大学院医学系研究科 教授 山田 純生先生
- 講演4** 13:50~14:10 「腎臓にやさしい食事~減塩を中心に~」(20分)
 増子記念病院臨床栄養課 管理栄養士 朝倉 洋平先生
- 休 憩 14:10~14:30 (20分)

- パネルディスカッション** 14:30~15:30
 テーマ「腎臓が悪いと言われたら~腎不全治療の3つの柱~」(60分)
- ◎コーディネーター 名古屋大学大学院医学系研究科 教授 丸山 彰一先生
 - ◎パネラー 名古屋大学大学院医学系研究科 准教授 安田 宣成先生
 - ◎パネラー 増子記念病院 腎臓内科 部長 安田 香先生
 - ◎パネラー 名古屋大学大学院医学系研究科 助教 加藤 真史先生
 - ◎パネラー 名古屋大学医学部附属病院 慢性疾患看護専門看護師 高井 奈美先生
- *プログラム及び講師につきましては変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

主なブース(予定) 12:00~16:15
 ※講演、パネルディスカッション中は閉鎖します

- * 腎臓にやさしい食品サンプル
- * 血圧相談
- * 薬相談
- * 療養相談
- * 腎臓病・糖尿病相談
- * 血液透析・腹膜透析相談
- * 移植相談
- * 生体腎移植ドナーの会

応募方法

参加人数(2名様まで)、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、本セミナーに応募する動機を明記の上、はがき、FAX、e-mailのいずれかで下記のあて先までお送りください。

あて先

- ◎はがき 〒460-8488 (住所不要)
 朝日新聞名古屋本社メディアビジネス部
 「健康ライフセミナー」係
 - ◎FAX 052-221-5804
 - ◎e-mail nadv-2@recv.asahi.com
- ※応募締め切り/2月28日(火) 必着

応募多数の場合は抽選とします。
 当選者の発表は招待状の発送をもってかえさせていただきます。
 ※お送りいただきました個人情報は、朝日新聞社が管理し、セミナーの案内状を発送するために使用します。また今後、朝日新聞社から次回セミナーのお知らせなどをする場合にも使用させていただきます。

お問い合わせ先

- 朝日新聞社メディアビジネス部「健康ライフセミナー」事務局
 TEL (052) 231-5537 (10:00~17:30、土・日・祝を除く)
- 主催 / 朝日新聞社広告局
 - 協力 / 増子記念病院、NPO法人 日本移植未来プロジェクト
 - 後援 / 愛知腎臓財団、愛知県医師会、三重県医師会、日本慢性腎臓病対策協議会

まずは確認!

慢性腎臓病チェックリスト

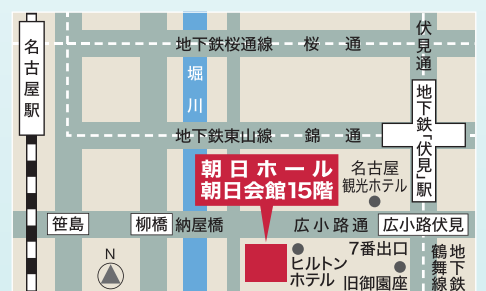
腎臓の動きが悪くなる原因には、生活習慣が深く関わっています。次の設問にいくつ当てはまるか確認しましょう。多いほど慢性腎臓病になる危険度が高まります。

- 肥満気味である
- タバコを吸う
- 塩分の多い食事が好き
- 急性腎不全などにかかったことがある
- 夜中にトイレに起きるようになった
- 家族に腎臓病の人がいる
- 身体がむくむ
- 薬(痛み止め)などを長期間飲んでいる(いた)
- 出生体重が2,500g未満だった
- 血圧が高めである
 (収縮期血圧130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上)
- 糖尿病である(血糖値やHbA1cが高め)
- 脂質異常症(LDLコレステロールが高め)である
- 痛風(尿酸値が高め)である
- 過去の健診で尿検査に異常(タンパク・潜血)が見つかった

健診などで確認できます

たくさん当てはまる場合は医療機関に相談しましょう。

◎出展 岐阜県可児市「広報かに」2016年2月1日号



※駐車場がありませんので公共交通機関をご利用ください。

たんぱく尿、高血圧、高血糖、動脈硬化…… 知っておきたい体の危険信号

第7回 腎臓から考える健康ライフセミナー

ホール

本日のプログラム



- 講演1** 13:00~13:10 「もっと知ろう!! 腎臓のこと」(10分)
名古屋大学大学院医学系研究科 教授 **丸山 彰一**先生
- 講演2** 13:10~13:30 「糖尿病と腎臓病はどんな“あいだがら”?」(20分)
藤田保健衛生大学医学部腎内科学 准教授 **稲熊 大城**先生
- 講演3** 13:30~13:50 「一病息災の健康法:運動で長生き!」(20分)
名古屋大学大学院医学系研究科 教授 **山田 純生**先生
- 講演4** 13:50~14:10 「腎臓にやさしい食事~減塩を中心に~」(20分)
増子記念病院臨床栄養課 管理栄養士 **朝倉 洋平**先生
- 休 憩 14:10~14:30 (20分)

パネルディスカッション 14:30~15:30

テーマ「腎臓が悪いと言われたら~腎不全治療の3つの柱~」(60分)

- ◎コーディネーター 名古屋大学大学院医学系研究科 教授 **丸山 彰一**先生
- ◎パネラー 名古屋大学大学院医学系研究科 准教授 **安田 宜成**先生
- ◎パネラー 増子記念病院 腎臓内科 部長 **安田 香**先生
- ◎パネラー 名古屋大学大学院医学系研究科 助教 **加藤 真史**先生
- ◎パネラー 名古屋大学医学部附属病院 慢性疾患看護専門看護師 **高井 奈美**先生

※プログラム及び講師につきましては変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

ロビー

- * 血圧測定・血圧相談 * NPO法人 日本移植未来プロジェクト活動
- * 血液透析・腹膜透析相談 * 生体腎移植ドナーの会
- * 糖尿病相談
- * 腎臓病相談
- * 療養相談

特設会場

- * 薬相談
- * 低タンパク・減塩食品等展示



- 主 催 / 朝日新聞社メディアビジネス局
- 後 援 / 愛知腎臓財団、愛知県医師会、三重県医師会、日本慢性腎臓病対策協議会
- 協 力 / 増子記念病院、NPO法人 日本移植未来プロジェクト
- 特別協賛 / バイエル薬品、バクスター、ファインメディカル、医療法人 永仁会、医療法人 生寿会
- 協 賛 / 中外製薬、大日本住友製薬、三和化学研究所、テルモ、協和発酵キリン、ニプロ、大塚製薬、名古屋栄クリニック
- 協力各社 / 木徳神糧、キッセイ薬品工業、三州商会、日清オイリオグループ、ヘルシーネットワーク